

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）5月23日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19007
部門分類：130(工芸・特用作物)
発信者名：濱谷、竹若

立命館大学の留学生が信楽町朝宮の茶について学ぶ

5月18日、立命館大学経済学部留学生約30名が、甲賀市信楽町朝宮地域の茶業について学びました。当日、当課から朝宮地域の茶業の概要を説明するとともに、茶園や製茶工場、集荷場の見学を支援しました。

当日、ベトナムやフィリピン、バングラデシュなど8カ国からの出身者らが参加され、集団茶園の見学では大半の方々がその光景に感銘を受けていました。当課から、滋賀県が日本茶業の発祥の地であることや朝宮茶業の歴史、また、地域茶業の特徴や栽培について説明し、参加者らは興味深く聞かれていました。

その後、参加者らは製茶工場と朝宮茶拠点施設の茶集荷場を訪れ、刈り取られた生葉が荒茶になるまでの茶の製造工程などについて説明を受けました。

また、生産者とJAとの共同出荷・共同販売の仕組みを説明した際には、留学生から「茶の価格はどのようにして決まるのか」、「販売を共同で行うメリットは」など、質問が多く出され、「自国には農業において協同組合という仕組みがないのでとても興味深かった」、「朝宮茶の歴史とブランドを守るために、生産者が努力している様子が伝わってきた」と感想を話しておられました。

その後の昼食会では、朝宮産のほうじ茶、煎茶、抹茶を試飲し、「とても美味しい」と喜んでおられました。

現在、お茶の輸出の拡大に期待が寄せられており、世界の多くの方々に甲賀の茶を知っていただくためにも、当課は茶業振興に向けた取組を支援していきます。



あいにくの雨の中、集団茶園を見学



JAの集荷施設の見学